



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年1月25日

上場会社名	株式会社 小糸製作所	上場取引所	東
コード番号	7276	URL	http://www.koito.co.jp/
代表者	（役職名）代表取締役社長 （氏名）三原 弘志		
問合せ先責任者	（役職名）専務取締役 （氏名）小長谷 秀治		TEL (03) 3443-7111
四半期報告書提出予定日	2019年2月1日	配当支払開始予定日	—
四半期決算補足説明資料作成の有無	：無		
四半期決算説明会開催の有無	：無		

（百万円未満切捨て）

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年12月31日）

（1）連結経営成績（累計） （%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期 第3四半期	607,820	△ 5.1	72,588	△ 2.4	75,751	△ 4.0	51,006	7.3
2018年3月期 第3四半期	640,701	6.2	74,344	16.9	78,879	19.5	47,517	19.0

（注）包括利益 2019年3月期第3四半期 49,296百万円（△24.7%） 2018年3月期第3四半期 65,502百万円（32.6%）

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2019年3月期 第3四半期	317	34	317	24
2018年3月期 第3四半期	295	65	295	55

（2）連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
2019年3月期 第3四半期	707,613		477,427		62.0		2,727	50
2018年3月期	672,055		444,808		61.0		2,551	48

（参考）自己資本 2019年3月期第3四半期 438,394百万円 2018年3月期 410,102百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計					
	円	銭	円	銭	円	銭				
2018年3月期	—		36	00	—		60	00	96	00
2019年3月期	—		40	00	—					
2019年3月期（予想）					—				—	

（注1）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

（注2）当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

（注3）2018年3月期期末配当金の内訳 普通配当40円00銭 特別配当20円00銭

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	816,000	△ 3.9	98,000	△ 5.6	101,000	△ 6.4	69,000	△ 17.3	429	29

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2019年3月期3Q	160,789,436株	2018年3月期	160,789,436株
② 期末自己株式数	58,220株	2018年3月期	58,106株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	160,731,269株	2018年3月期3Q	160,718,843株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想については、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

（日付の表示方法の変更）

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

(参考) 2019年3月期の個別業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	364,000	7.1	38,500	2.4	56,000	0.4	43,000	△ 30.9	267	53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済情勢は、自然災害による輸出や生産活動の一時的な減少はあったものの、好調な企業業績を背景に設備投資が増加、堅調な個人消費もあり、緩やかな回復基調で推移いたしました。世界においては、米国・アジア経済が比較的堅調に推移、米中貿易摩擦の激化、欧米の政治的な混乱、ドル高や新興国の通貨安、地政学的リスク等はあるものの、総じて堅調に推移いたしました。

自動車産業におきましては、国内は、軽自動車販売は好調なものの輸出が減少したことにより、生産台数は前年同期比で横這いとなりました。海外では、ASEANやインドでの需要増はあるものの、中国が前期の小型車減税打ち切りの影響等により減産、欧州での減産等もあり、世界の自動車生産台数は前年同期に比べ減少いたしました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間における売上高は、主力の自動車照明関連事業において新規受注の拡大や自動車ランプのLED化進展等がありましたものの、世界自動車生産台数の減少に加え、従来連結子会社であった上海小糸車灯有限公司（以下、「上海小糸社」といいます。）を2017年9月末に持分法適用会社とし、2018年3月末に連結対象から除外した影響から、前年同期比5.1%減の6,078億円となりました。

セグメントの状況は、以下のとおりです。

[日 本]

自動車生産台数が横這いのなか、新規受注の拡大や自動車ランプのLED化進展により、売上高は前年同期比5.4%増の2,767億円となりました。

[北 米]

自動車生産台数が若干増加するなか、新規受注の拡大や自動車ランプのLED化進展により、売上高は前年同期比8.2%増の1,487億円となりました。

[中 国]

自動車生産台数が減少するなか新規受注の拡大はあるものの、上海小糸社を連結対象から除外した影響から、売上高は前年同期比47.4%減の733億円となりました。

[アジア]

自動車生産台数の増加に加え、タイやインドネシアにおける新規受注の拡大等により、売上高は前年同期比13.7%増の790億円となりました。

[欧 州]

自動車生産台数の減少に加え、受注車種の新車効果の一巡や生産終了等もあり、売上高は前年同期比10.8%減の285億円となりました。

[その他]

2018年5月よりブラジル子会社にて生産を開始、売上高は14億円となりました。

利益につきましては、国内外における改善合理化を推進したものの、上海小糸社を連結対象から除外した影響、研究開発の強化等により、営業利益は前年同期比2.4%減の725億円、経常利益は前年同期比4.0%減の757億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては前期に独禁法関連損失を計上したこともあり前年同期比7.3%増の510億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

ー 1. 資産、負債、純資産に関する分析

当第3四半期末の資産の残高は、受取手形及び売掛金などが減少したものの、現金及び預金の増加、及び設備投資に伴い有形固定資産が増加したこと等により、前期末に比べ355億円増加の7,076億円となりました。

負債の残高は、設備投資に係る未払金の増加等により、前期末に比べ29億円増加の2,301億円となりました。

純資産の残高は、利益剰余金が増加したこと等から、前期末に比べ326億円増加の4,774億円となりました。

ー 2. キャッシュ・フローに関する分析

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益748億円、減価償却費230億円を主体に1,005億円となり、法人税等を支払った結果、705億円の資金を確保いたしました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資388億円等を実施した結果、329億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金等の支払い182億円等を実施した結果、134億円の支出となりました。

以上により、現金及び現金同等物の期末残高は、前期末に比べ228億円増加の638億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期通期の業績予想につきましては、売上高は、国内外における新規受注の拡大や自動車ランプのLED化進展が見込まれるものの、上海小糸社を連結対象から除外した影響から、前期比減収の予想であります。

利益につきましては、売上高と同様に上海小糸社の影響に加え、研究開発の強化等により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の各利益において減益の見通しであります。

なお、2018年10月26日の第2四半期決算短信にて公表いたしました2019年3月期通期の業績予想（連結・個別）は以下の通り修正しております。

(百万円未満切捨て)

2019年3月期 通期（2018年4月1日～2019年3月31日）連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想（A）	809,000	98,000	101,000	69,000	429	29
今回予想（B）	816,000	98,000	101,000	69,000	429	29
増減額（B－A）	7,000	—	—	—	—	—
増減率（%）	0.9	—	—	—	—	—
（ご参考）前期実績 （2018年3月期）	848,868	103,785	107,945	83,397	518	90

（参考）2019年3月期 通期（2018年4月1日～2019年3月31日）個別業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想（A）	361,000	38,000	55,000	42,000	261	31
今回予想（B）	364,000	38,500	56,000	43,000	267	53
増減額（B－A）	3,000	500	1,000	1,000	—	—
増減率（%）	0.8	1.3	1.8	2.4	—	—
（ご参考）前期実績 （2018年3月期）	339,976	37,599	55,791	62,228	387	18

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	260,644	276,075
受取手形及び売掛金	116,329	106,227
電子記録債権	13,154	12,503
たな卸資産	62,293	67,875
その他	23,905	32,248
貸倒引当金	△503	△624
流動資産合計	475,825	494,306
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	37,735	43,812
機械装置及び運搬具（純額）	51,000	59,263
工具、器具及び備品（純額）	13,592	16,346
土地	15,687	16,049
建設仮勘定	15,918	16,903
有形固定資産合計	133,935	152,375
無形固定資産	2,419	2,824
投資その他の資産		
投資有価証券	49,707	42,730
破産更生債権等	60	60
繰延税金資産	8,400	10,965
その他	1,994	4,644
貸倒引当金	△287	△291
投資その他の資産合計	59,875	58,108
固定資産合計	196,230	213,307
資産合計	672,055	707,613

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	92,217	90,626
電子記録債務	10,757	12,722
短期借入金	15,845	23,069
未払費用	20,959	25,284
未払法人税等	18,286	3,417
賞与引当金	5,189	2,003
製品保証引当金	3,035	2,596
独禁法関連損失引当金	80	83
その他	10,721	19,623
流動負債合計	177,092	179,427
固定負債		
長期借入金	13,083	9,017
繰延税金負債	4,499	6,284
役員退職慰労引当金	424	464
製品保証引当金	5,192	5,549
環境対策引当金	184	665
退職給付に係る負債	24,974	26,744
その他	1,795	2,033
固定負債合計	50,154	50,758
負債合計	227,247	230,185
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,270	14,270
資本剰余金	16,716	16,760
利益剰余金	350,903	385,836
自己株式	△54	△55
株主資本合計	381,836	416,812
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,969	19,215
為替換算調整勘定	3,902	1,987
退職給付に係る調整累計額	394	379
その他の包括利益累計額合計	28,266	21,582
新株予約権	245	245
非支配株主持分	34,460	38,787
純資産合計	444,808	477,427
負債純資産合計	672,055	707,613

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	640,701	607,820
売上原価	523,701	499,381
売上総利益	116,999	108,439
販売費及び一般管理費	42,655	35,850
営業利益	74,344	72,588
営業外収益		
受取利息	765	929
受取配当金	1,206	1,184
持分法による投資利益	794	8
為替差益	179	255
その他	2,615	1,657
営業外収益合計	5,561	4,036
営業外費用		
支払利息	722	674
その他	304	198
営業外費用合計	1,026	873
経常利益	78,879	75,751
特別利益		
固定資産売却益	31	286
投資有価証券売却益	0	-
特別利益合計	31	286
特別損失		
固定資産除売却損	361	436
環境対策引当金繰入額	-	484
たな卸資産評価損	-	268
独禁法関連損失	1,575	-
減損損失	156	-
特別損失合計	2,093	1,189
税金等調整前四半期純利益	76,817	74,848
法人税、住民税及び事業税	18,439	16,542
法人税等調整額	4,365	2,068
法人税等合計	22,805	18,611
四半期純利益	54,012	56,236
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	47,517	51,006
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,495	5,230

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,433	△4,812
為替換算調整勘定	5,318	△2,347
退職給付に係る調整額	△165	219
持分法適用会社に対する持分相当額	904	—
その他の包括利益合計	11,490	△6,940
四半期包括利益	65,502	49,296
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	58,131	44,322
非支配株主に係る四半期包括利益	7,371	4,974

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	76,817	74,848
減価償却費	23,761	23,066
減損損失	156	—
株式報酬費用	96	44
持分法による投資損益(△は益)	△794	△8
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△356	131
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△499	△712
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,958	△3,184
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△740	△82
受取利息及び受取配当金	△1,971	△2,114
支払利息	722	674
たな卸資産評価損	—	268
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△0	—
有価証券及び投資有価証券評価損益(△は益)	—	△2
有形固定資産除売却損益(△は益)	330	150
環境対策引当金繰入額	—	484
独禁法関連損失	1,575	—
売上債権の増減額(△は増加)	6,095	10,339
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,496	△6,831
その他の流動資産の増減額(△は増加)	119	△8,483
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,753	1,177
未払費用の増減額(△は減少)	4,881	4,222
その他	2,389	6,552
小計	99,374	100,540
利息及び配当金の受取額	1,971	2,114
利息の支払額	△722	△674
独禁法関連損失の支払額	△4,999	—
法人税等の支払額	△21,954	△31,391
営業活動によるキャッシュ・フロー	73,670	70,588
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△129,506	△131,486
定期預金の払戻による収入	115,779	138,874
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△54	△904
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	38	0
有形固定資産の取得による支出	△30,994	△38,838
有形固定資産の売却・除却による収支(△は支出)	141	882
貸付けによる支出	△1	△3
貸付金の回収による収入	9	6
その他	67	△1,493
投資活動によるキャッシュ・フロー	△44,521	△32,962

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△885	5,320
長期借入れによる収入	1,976	655
長期借入金の返済による支出	△1,917	△2,342
自己株式の取得による支出	△1	△0
ストックオプションの行使による収入	0	-
非支配株主からの払込みによる収入	-	1,144
親会社による配当金の支払額	△10,795	△15,574
非支配株主への配当金の支払額	△4,445	△2,679
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,067	△13,477
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,468	△1,303
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	14,550	22,844
現金及び現金同等物の期首残高	39,500	41,050
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△9,624	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	44,425	63,894

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	中国	アジア	欧州	その他	合計	調整額 (注)1	四半期 連結 財務諸表 計上額 (注)3
売上高									
外部顧客への売上高	262,477	137,417	139,286	69,502	32,015	3	640,701	—	640,701
セグメント間の内部売上高 又は振替高	15,207	8	1,989	5,236	87	—	22,529	(22,529)	—
計	277,684	137,425	141,276	74,738	32,102	3	663,230	(22,529)	640,701
セグメント利益又は損失(△)	40,342	13,092	11,413	7,381	3,390	△300	75,320	(975)	74,344

(注) 1. セグメント利益又は損失(営業利益)の調整額△975百万円には、セグメント間取引消去3,542百万円及び配賦不能営業費用△4,518百万円が含まれております。配賦不能営業費用は、親会社本社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. 日本、中国以外の各セグメントに属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 北米 …米国、メキシコ

(2) アジア…タイ、インドネシア、台湾、インド、マレーシア

(3) 欧州 …英国、チェコ

(4) その他…ブラジル

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	中国	アジア	欧州	その他	合計	調整額 (注)1	四半期 連結 財務諸表 計上額 (注)3
売上高									
外部顧客への売上高	276,745	148,702	73,327	79,043	28,551	1,448	607,820	—	607,820
セグメント間の内部売上高 又は振替高	21,382	44	4,907	4,506	117	6	30,965	(30,965)	—
計	298,128	148,746	78,235	83,549	28,669	1,455	638,785	(30,965)	607,820
セグメント利益又は損失(△)	41,246	11,716	10,369	9,003	2,584	△1,506	73,414	(826)	72,588

(注) 1. セグメント利益又は損失(営業利益)の調整額△826百万円には、セグメント間取引消去3,938百万円及び配賦不能営業費用△4,764百万円が含まれております。配賦不能営業費用は、親会社本社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. 日本、中国以外の各セグメントに属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 北米 …米国、メキシコ

(2) アジア…タイ、インドネシア、台湾、インド、マレーシア

(3) 欧州 …英国、チェコ

(4) その他…ブラジル

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。